

令和3年3月3日

お客様各位

沼津信用金庫

「地域防災企画展」の実施について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年が経過します。災害直後の現場では、生活インフラが壊滅し、物資不足や雪の影響等極限状況の中、懸命な救助活動が行われ、全国各地からのボランティアも大きな力となりました。このような中、自らも被災しながら懸命に現地での金融サービスを再開し地域住民・社会に対する責任・使命を発揮したのは信用金庫の役職員でありました。

昨年12月、地元信用金庫、信金中金の皆様のご協力のもと、3名の役職員に金庫の代表として、東北の現状を視察のため宮城県と福島県に出向かせていただきました。東北復興は、沿岸部道路の復旧・整備も進んできており、そして本年4月から第2期復興・創生期間(5年間)としてソフト面の対策が重点取組として企画されております。インフラ整備や住まい再建への動きは進んでいるものの、原発事故の除染作業は継続されていて、まだ約4.2万人(復興庁R3.1.29)が避難されている状況であり、福島県産魚介類の風評被害もあり、震災はまだ終わっていません。

本年の企画展において、“東北の復興・10年の歩み”そして、“皆様へのエール(絆)”として、メッセージを地域の皆様に発信していきたいと思っております。震災復興や地域防災に関する資料を本店・大岡支店・間門支店・裾野中央支店・御殿場営業部に展示することといたします。

当地域周辺でも、歴史を振り返ると地震により大きな被害を受けたことがあります。1854年、推定マグニチュード8.4という「安政東海地震」が発生し、全国に甚大な被害をもたらしました。震源地が熊野灘・遠州灘沖から駿河湾にかけてのものであったため、静岡県は特に大きな被害がでました。

震災はいつ、どこで発生するのか予想はできません。東海地域、まさに私たちが暮らしている静岡県は特にその危険と隣り合わせであることを忘れてはなりません。当金庫のみならず当金庫のお客様、ひいては当地域全体に対して「防災」はもちろんのこと「減災」への取組みに貢献していく必要があります。

地域の皆様におかれましては、この機会に、この災害の記憶を風化させることなく次の災害への「備え」に活かしていくように努めていただきたいと思います。

【地域防災企画展開催のお知らせ】

沼津信用金庫

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年が経過します。

被災された方々に改めてお見舞い申し上げるとともに、これからの地域発展を心よりお祈り申し上げます。当金庫では、東日本大震災や連続して起きている様々な災害、過去に起きた安政東海地震より得た教訓を次の災害に対して活かし、地域における「防災」「減災」を改めて意識することができるよう、今年もポスターの掲示やパネル・写真展の開催などの地域防災企画展を下記のとおり実施することといたしました。

「第6回 地域防災企画展」

企画展期間 3月3日(水)～3月26日(金)

企画展内容

① ポスターの掲示 (全店)

② パウチした当金庫メッセージファイル、

福島県 あぶくま信用金庫 様 小冊子『福相双』、

小学生向け「防災ハンドブック」の店頭設置 (全店)

3月3日(水)～3月26日(金)

③ パネル展の開催

(本店、大岡支店、間門支店、裾野中央支店、御殿場営業部)

東日本大震災復興状況の福島民報様の写真パネル展 (本店)

3月3日(水)～3月26日(金)

東日本大震災復興状況視察の写真パネル展 (間門支店)

3月3日(水)～3月26日(金)

東日本大震災復興状況視察の写真パネル展

(裾野中央支店・御殿場営業部)

3月4日(木)～3月26日(金)

静岡県地震防災センター様の地震被害写真パネル展、

第4次被害想定パネル展 (大岡支店)

3月8日(月)～3月19日(金)

④ 視察資料データの電子掲示板への配信と掲示 (全店)

電子掲示板「ラクッピー」に視察資料データ、福島県双葉町動画を配信し掲示します。

3月3日(水)～3月26日(金)

以上